



第26号
発行日
令和8年3月1日
編集・発行所
宮城県気仙沼向洋高等学校同窓会
宮城県気仙沼市長磯牧通78番地
電話 (0226) 27-2311

今年の方針は「午年」であり、非常に縁起が良いとされている年でもあります。馬が、前へと進むその姿は、夢に向かって突き進む人の象徴でもあり、発展・成長・努力の実りと言われております。また社に奉納される「絵馬」は、もともと馬が神様の使いとされていたこと由来し、「願いを届ける存在」「福を運ぶ動物」としての特別な意味をもっております。更に武士にとっては、勝利をもたらす存在であり、「出世運」「勝負運」「商売繁盛」の象徴ともされてきました。2026年の午年は、同窓会員の皆様にとって、飛躍の年となることを祈念申し上げます。さて、昨年は社会全体が良くも悪くも異なる局面に到達したのではと感じさせる年であったように思います。国内の状況では、7月の参議院議員選挙で自民党・公明党が大敗して過半数割れとなり、参政党や国民民主党が議席を伸ばしました。その後9月に石破首相が退陣を表明し、10月に日本初の女性首相となる高市内閣が発足しました。この過程で、公明党が26年にも及ぶ連立から離脱し、自民党は日本維新の会と連立を組む形になったのは、政治的に大きな変化を伴ったものであり、異なった局面になったと言えます。また、10月には日経平均株価が



新たな局面を迎える 社会とともに

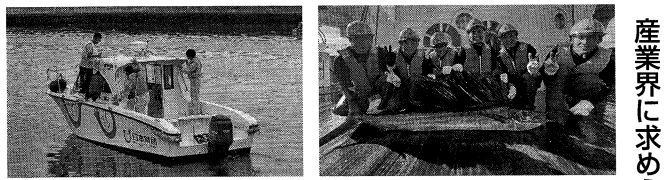
同窓会長 守屋 守昭

史上最高値を更新し、初の5万円台を突破しました。一方で、円安や物価高、さらにはコメ不足による価格高騰など、生活に大きく関連する部分については、生活者にとって必ずしも楽になったわけではない状況が続いています。10月に閉幕した2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）につきましても、開催前に様々な懸念が示されておりましたが、最終的には予想を上回る来場者数に達し成功裏に閉幕することができました。海外に目を向けると、1月にアメリカではトランプ大統領が就任し、中東やウクライナの問題をはじめ、トランプ関税など新しい形での国際的な関与の動きを活発化しており、我が国につきましても様々な影響がでてきております。2026年は午年にあやかり、良い年になることを期待しております。さて2025年度同窓会活動を報告させていただきます。昨年7月5日に2025年度気仙沼向洋高等学校同窓会総会に杉山校長先生と同窓会役員7名の計8名にて参加させていただきました。総会後の懇親会は、気仙沼高校との合同懇親会となり、出身高校の別が無く大変盛大に執り行われ、大変参考になりました。また、懇親会終了後に高橋義勝 関東同窓会会長を含めた同窓生諸兄と非常に有意義な時間を

過ごすことができました。報告させていただきます。翌週の7月12日に令和7年度気仙沼向洋高校同窓会総会がゲストハウスアーバンで開催され61名の同窓生の参加を頂き盛会裏に開催されました事を報告させていただきます。総会担当の卓球部OB諸兄にはスムーズな総会及び懇親会の進行をして頂き感謝申し上げます。11月3日文化の日に第5回親睦パークゴルフ大会を、旧気仙沼向洋高校グラウンド跡地に藤田林実行委員長主導のもと40名の参加を頂き、同窓生の親睦を深める事ができました。近年は地球温暖化に伴う気候変動や異常気象、台風や地震といった災害など、予測困難な事象が各地で次々と起こっております。当気仙沼地方につきましても基幹産業であります水産業に於きまして、大きく変化しております。28年続いた生鮮カツオの水揚げ日本一は、千葉勝浦に抜かれ2位となりました。秋刀魚は多少獲れませんが、かつおの水揚げなどは及ばない状況であります。水産加工業やそれらを支える気仙沼の地場産業は非常に厳しい局面になって来ております。今後、先行きが不透明で大変な時代になるものと思いますが、地域に愛され信頼される向洋高校同窓会でありたいと強く願っています。結び、同窓生の皆様方のご健勝での活躍と、同窓会事業へのご支援、ご協力を衷心よりお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

学校便り

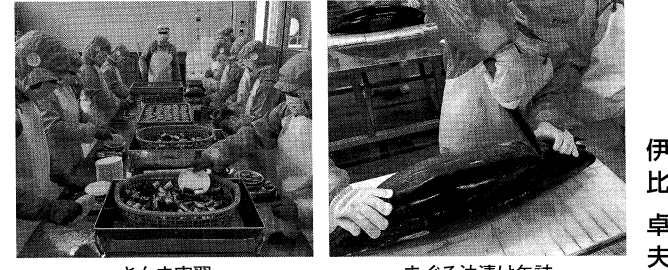
情報海洋科海洋類型



本校では、例年「宮城丸第2次航海」を実施しています。今年度は10月上旬、海洋類型2年生と専攻科漁業科1年生が宮城丸に乗船し、船舶運航の学習に加えてマクログロ延縄実習に取り組みました。航海の途中、11月上旬には沖繩・那覇港へ寄港し、生徒たちは沖繩の海洋文化や歴史に触れる貴重な機会を得ました。その後、瀬戸内海の主要航路を通過し、11月中旬に気仙沼へ無事帰港いたしました。教室で学んだ理論を実際の海で確かめることで、生徒たちは知識を深めるだけでなく、実践力や主体性を大きく伸ばすことができました。また、今年度からは艇庫を活用した各種実習や課題研究にも力を入れており、学びの幅がさらに広がっています。【詳細は別記載】。変革の時代にあっても、専門高校には「産業人材の育成」という重要な使命があります。今後も実習や課題研究を通じて、幼保・小中学校、企業、地域の皆様との連携を強め、生徒一人ひとりが産業界から求められる人材へと成長できるよう取り組んでまいります。同窓会の皆様には引き続き温かいご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

産業経済科

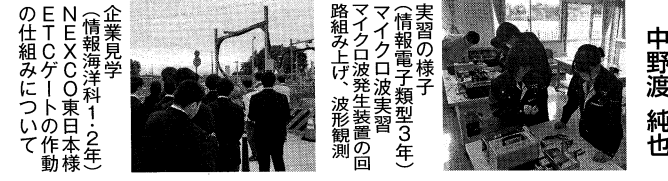
地域と歩む この1年
産業経済科では、「食と産業を支える実践的人材の育成」を目標に、本年度も地域・大学・専門機関と連携した多彩な学習活動を展開しました。教科内実習では、本校伝統の「さんま味付」や、実習船宮城丸で情報海洋科・専攻科漁業科生が漁獲した原料を用いた「まぐろ油漬」製造に取り組み、HACCPに基づく衛生管理の徹底と実践的な製造技術の習得を進めています。「課題研究」では食品開発や資源活用、食文化継承など多様なテーマで探究を深め、全国大会奨励賞、意見発表全国優秀賞を受賞しました。また「向洋キーマカレー」が県品評会特別賞を獲得。販売実習や進路実績も充実しました。これも、地域・同窓の皆様のお力添えと深く感謝を申し上げます。



さんま実習 まぐろ油漬け缶詰

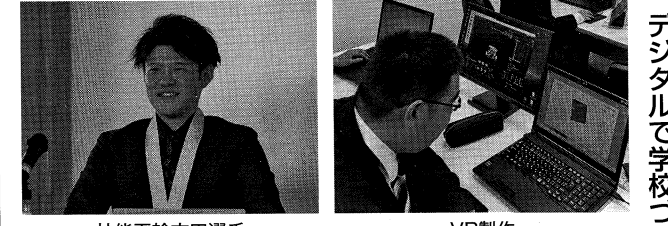
情報海洋科情報電子類型

世の中のデジタルトランスフォーメーション(DX)化に向けて同窓会の皆様には、日頃より多大なるご支援をいただき誠にありがとうございます。おかげさまで、今年度も無線や情報、電気に関する専門的な学習や企業見学など、様々な学習活動を進めることができました。さて、近年IoTやAIの導入により、さまざまな業務プロセスやビジネスモデルを根本的に変革するデジタルトランスフォーメーション(DX)が進んでおります。本類型では、このような無線に関する学習はもろろん、このような社会の変化に対応できる人材の育成を引き続き目指して参ります。そのため、日々の学習を通じて電気や通信に関する基礎知識や技術の定着を図り、ドローンやAI、IoTの活用、データの収集・解析など、DX化に即した授業を導入していきます。また、早期に進路に対する自覚を育てるため、最先端技術に触れ、現場の雰囲気を感じ取ることでできる出前授業や企業見学など、積極的なキャリア教育を実施します。さらに、産業界のスペシャリストを招き、資格取得の推進にも力を入れてまいります。今後とも教育活動における皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



企業見学 (情報海洋科1・2年) NEXCO東日本様との取り組みについて

機械技術科



デジタルで学校づくり
同窓会の皆様には、平素より多大なるご支援をいただき誠に感謝申し上げます。今年も多くの同窓生から、本校の技術支援プログラムへ惜しみないご協力をいただいております。技能五輪自動車工世界4位の村上快仁選手、来年世界大会へ出場が決まった自動車板金吉田将選手、デモをはじめ、インターンシップ・資格指導・競技大会の技術指導に多くの卒業生たちが熱意を持って取り組んでくれました。今年度の新たな取り組みは、文部科学省DXハイスクール事業で入ったデジタルツイン教材を利用した授業です。教師・生徒もやっとなりに慣れ、今はVR空間にロボットや実習室を再現しようとして取り組んでおります。同窓生の皆様にもアイデアを頂戴し、全科で利用可能な教材作りをしていきたいと考えています。これからも同窓生、学校が一つになり、未来ある高校生たちを大切に育てていけたら幸いです。今後ともどうぞよろしくお願いたします。

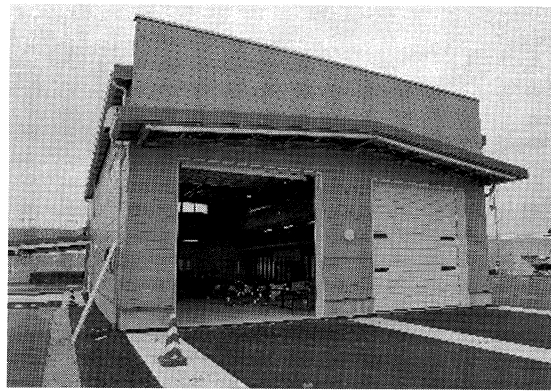
気仙沼向洋高校校歌
一、鼎が浦に 生いたちて 建学ここに 幾星霜 久遠の歴史 固めつつ 海の文化の 象徴と 湾頭高く 輝ける おお 気仙沼向洋高
二、望めば遠し 太平洋 金波は躍る 海の幸 科学の力 傾けて 宝庫開かん 使命こそ 我等が担う 誇なる おお 気仙沼向洋高
三、世界にひびく 水産の 譽を挙げん 我等なり 暖流遙か 南より 盛り上り来る 八百潮の高鳴るごとく 講えなん おお 気仙沼向洋高

編集後記
同窓会会報「睦水」26号の発行にあたり、一言お礼申し上げます。この度は校務ご多用のところ、杉山校長先生はじめ関係の先生方、同窓会役員諸兄に大変感謝申し上げます。今年も同窓会活動を滞らせることなく、各行事を行うことができました。特に同窓会総会においては卓球部OB会の方々に世話をいたしました。また、同窓会親睦パークゴルフ大会も多くの先輩方のご協力を得て無事に開催できましたことにも大変感謝申し上げます。引き続き同窓会活動の記録として「睦水」を発行してまいりますので、引き続き同窓会諸兄のお力添えをお願いいたします。同窓会会報「睦水」編集委員会

中野渡 純也

武田 修司

伊比 卓夫



同窓会 艇庫完成のご報告

情報海洋科 後藤和政

かねてより建設を進めておりました艇庫が、松岩漁港片浜地区に令和7年3月無事完成いたしました。海洋実習の安全で効率的な環境整備、小型船舶を含む実習設備の管理を目的として計画された本事業は、多くの同窓生の皆さまからの温かいご支援とご協力により、ついに形となりました。令和7年度から活用しております。

背景と経緯
本校情報海洋科では、海洋や船舶に関する実習を通じて、課題研究や海技士の養成を行っています。東日



部活動への効果
片浜地区には震災以前からヨットの部室がありました。今回の艇庫完成は部員にとって待望でありました。練習環境が整ったことで、集



感謝と今後
艇庫建設に際し、同窓会の皆様、漁業関係者、地域の皆様には多大なるご尽力を賜りました。新設された艇庫とともに、学校の伝統は次世代へと受け継がれていきます。今後とも変わらぬご支援とご声援をお願い申し上げます。

中して取り組めるだけでなく、部全体の士気向上にもつながっています。

ご挨拶

校長 杉山秀樹



同窓生の皆様におかれましては、本校の教育活動に格別のご支援を賜り、深く感謝申し上げます。

今年度、伝統ある気仙沼向洋高等学校に着任できたことを、心から嬉しく思います。

振り返りますと、私が教員人生をスタートさせたのが平成4年、前身である気仙沼水産高校であり、その後「向洋」への変革に関わることができました。その時も今も、地域に愛され、伝統と歴史を礎とした素晴らしい学校だと思っています。そして、「ふるさと」ともいえる本校に校長として着任できたことは、この上ない大きな喜びであり、これまでに受けたご恩にしっかりと心えたいという思いでもあります。

本校の掲げる校訓は「向洋三心」とよばれる、尚志、創造、力行です。これは、志を高くもち、新しいものや考えを創り出していくために、努力して行動するという意味があります。そして、本校の歴史の中で永く変わらぬ教員であり、同時に時代が変化しても柔軟に対応できる力を育む教えでもあります。この校訓のもと、本校は常に産業界を見据え、新時代の技術を取り入れた教育を展開しており、水産業・工業の専門分野を学べる特色ある学校として、最先端の実習環境を整備しています。

今年度、本校は文部科学省のDXハ

イスタールに採択され、学校教育のデジタル化が加速しています。具体的には、プログラミングを仮想空間で実現するとともに、実際のロボットや水中ドローンを稼働させるシステムを構築します。さらに、情報海洋科と専攻科の生徒が乗船する宮城丸の設計図をもとに、船内のVR映像を制作するなど、工業技術と海洋科学を融合した、教科横断型の探究学習を進めていく予定です。

部活動の実績や専門教科の活動成果も、たいへん目覚ましいものがあります。ヨット部が東北総体で優勝し、13年ぶりにインターハイに出場しました。産業経済科の生徒は、東北地区水産・海洋高等学校意見発表会で最優秀賞を受賞し、山口県で行われた全国大会で第2位に輝きました。同様に、生徒研究発表大会でも愛媛県で行われた全国大会に出場しています。機械技術科では、若年者ものづくり大会で全国大会に出場しています。全国レベルの大会に出場できる優れた技術・技能を身につける生徒の努力と、教職員の指導の成果には感慨深い思いがあります。また、教職員についても文部科学大臣優秀教職員として表彰されるなど、喜ばしいことがありました。

気仙沼向洋高等学校は、これからも県民の皆様信頼され、安心して学べる学校として、専門的な学習と活発な部活動等とおして、子供たちの技術・技能の向上と人間的な成長をはかり、社会で活躍する人材育成を続けてまいりますので、同窓生の皆様のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

同窓会便り

第5回 親睦パークゴルフ大会

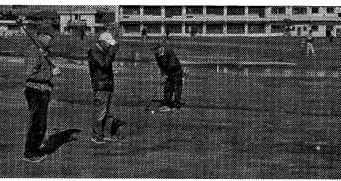


【大会結果】(上位3位まで)

順位	氏名	スコア
優勝	菅野 満隆	97
2位	菅原 順一	100
3位	川村 正信	101

※同スコアの場合は、年齢が上の方から上位とさせていただきます。

第5回親睦パークゴルフ大会を11月3日に気仙沼パークゴルフ場で行いました。今年度は40名のご参加を頂き、秋晴れの元で同窓生同士の親睦を深めることができました。



小野寺清雄さん顕彰碑清掃



令和7年度 同窓会総会
7月12日に気仙沼市内のゲストハウス気仙沼アーバンにて、同窓会総会および懇親会を実施いたしました。来賓10名、同窓会役員および事務局19名、一般会員32名、計61名のご参加をいただき、当日の運営は、担当部活の卓球部卒業生の皆様にご協力をいただき、総会および懇親会を無事開催することができました。



卓球部OBの方々

令和6年度 事業報告

- 令和6年 4月8日 入学式 気仙沼向洋高校
- 4月24日 第1回役員会(三役会) 気仙沼向洋高校
- 5月27日 第2回役員会 気仙沼向洋高校
- 7月5日 三役会・総会担当部活打合せ 気仙沼向洋高校
- 7月6日 関東同窓会総会 東京・ホテルポール麹町
- 7月13日 気仙沼向洋高校同窓会総会 アーバン
- 8月12日 さんりく同窓会総会
- 9月17日 汐見町校舎記念碑清掃作業 阿部長汐見町工場
- 9月30日 第3回役員会 気仙沼向洋高校
- 10月2日 宮城丸出港式 商港岸壁
- 11月3日 第4回親睦パークゴルフ大会 パークゴルフ場
- 11月3日 小野寺清雄さんの記念碑清掃作業 岩井崎
- 12月13日 第4回役員会兼忘年会 伊勢家
- 令和7年 1月27日 第5回役員会 気仙沼向洋高校
- 2月28日 同窓会入会式 気仙沼向洋高校
- 3月1日 卒業式 気仙沼向洋高校
- 3月27日 「睦水」第25号発行 700部 片浜

令和6年度 同窓会一般会計決算書

1 収入の部 自: 令和6年4月1日 至: 令和7年3月31日 単位: 円				
項目	予算額	決算額	増減	備考
繰越金	1,049,711	1,049,711	0	
在校学生会費	355,200	342,600	△ 12,600	
総会会費	250,000	241,000	△ 9,000	会費5,000円×32名 謝礼金1,000円×1名
パークゴルフ参加料	30,000	42,000	12,000	参加費1,000円×42名
同窓会入会金	115,000	107,000	△ 8,000	
雑収入	10	169	159	
合計	1,799,921	1,782,480	△ 17,441	
2 支出の部 単位: 円				
項目	予算額	決算額	増減	備考
会議費	50,000	3,693	△ 46,307	御茶代
事業費	400,000	359,489	△ 40,511	総会、卒業記念品 PG大会、1階水等
旅費	250,000	91,632	△ 158,368	関東同窓会
負担金	5,000	6,000	1,000	宮城県産業教育振興協会会費
慶弔費	100,000	40,000	△ 60,000	気仙沼向洋高校同窓会 商業同窓会
広告費	40,000	45,320	5,320	親睦パークゴルフ大会
通信費	40,000	3,359	△ 36,641	総会、役員会、パークゴルフ大会等案内
事務費	100,000	0	△ 100,000	
予備費	814,921	0	△ 814,921	
合計	1,799,921	549,493	△ 1,250,428	
3 次年度繰越金 単位: 円				
収入金額	支出金額	差引残額	備考	
1,782,480	549,493	1,232,987		

令和6年度 同窓会特別会計会計決算書

1 収入の部 単位: 円				
項目	予算額	決算額	増減	備考
繰越金	1,332,287	1,332,287	0	
雑収入	12	181	169	
合計	1,332,299	1,332,468	169	
2 支出の部 単位: 円				
項目	予算額	決算額	増減	備考
事業費	0	0	0	
予備費	1,332,299	0	△ 1,332,299	
合計	1,332,299	0	△ 1,332,299	
3 次年度繰越金 単位: 円				
収入金額	支出金額	差引残額	備考	
1,332,468	0	1,332,468		

宮城県気仙沼向洋高等学校同窓会 会計監査報告書

宮城県気仙沼向洋高等学校同窓会 会長 守屋守昭殿
令和6年度宮城県気仙沼向洋高等学校同窓会一般会計及び特別会計の諸帳簿、貯金通帳を監査したところ、適正かつ正確に処理されていることを認めましたのでここに報告申し上げます。

令和7年6月8日

宮城県気仙沼向洋高等学校同窓会
監事 小野寺 三 男
監事 藤田 和 博
監事 川村 秀 俊